

開催報告

あかし女性応援メッセ

女性も男性も
自分らしく生きる！

■2024年2月18日(日)

■複合型交流拠点 ウィズあかし8階 フリースペース

13:00～ ブース OPEN

14:00～ トークイベント開会

【トークセッション】

『生き方は自分で選ぶ

～ジェンダーを男性の視点から考える』

15:30～ 【トークサロン】 交換会

総合司会

あかし女性応援ねっと
運営委員 中野 裕香子



■参加者

ブース来場者 94名(のべ)

トークイベント参加者 53名

開会あいさつ

はじめに、令和6年能登半島地震により被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧を心からお祈り申し上げます。

昨年7月、豊岡市の先進的なジェンダーギャップ解消の取組みをお話いただき、その後の交流会で、明石市の課題を話し合う機会を持ちました。その際に、家庭や職場、地域、政治、あらゆる場面でのジェンダーギャップ解消の取組みが必要であること、また、男性も女性も気づきの場面や機会を増やすことの大切さ、子どもの頃からの教育が大切という意見が大変多かったことが印象的でした。

本日は男性の視点からのお話をいただき、誰もが「共に」「ストレスフリーに」過ごしていくために必要なことを学ぶ機会になればと考えております。

あかし女性応援ねっと
代表 崎野 圭子



GUEST

丸谷 聡子 明石市長

このように、多様な皆様が一堂に会って意見交換ができる場というのは大変貴重ですし、女性活躍という面においても心強く、支え合いながら前に進めるような重要な場です。開催につきまして、心より感謝申し上げます。

明石市では、インクルーシブ条例を全国に先駆けて制定しており、SOGIEという考え方も大切にしています。

ありのままのみなさんを受け入れるということで、人それぞれにグラデーションがあり、認め合える考え方を取り入れて、子どもたちにも教育の中でも伝えていこうとしています。本日のテーマ「女性も男性も自分らしく生きる」は大切なテーマだと思っています。明石市を、一人一人がありのままを受け入れられる市にしていきたいと思っていますので、みなさんのご協力を賜りたいと思います。

トーク
セッション

『生き方は自分で選ぶ

～ジェンダーを男性の視点から考える』

トーク
ゲスト

片田 孫朝日 さん (灘中学校・高等学校 公民科教諭)

竹端 寛 さん (兵庫県立大学環境人間学部 准教授)



女性も男性も、生き方を自分で選ぶために必要なこととは？
家事・育児、介護など、ケアの負担がまだ女性に偏っている状況があります。
子育て真っ最中の2名の講師に、男性視点のジェンダーについてお話いただきました。



片田 孫朝日 さん

男女が共に働き、私生活を大切にできる社会に。男性の意識の変化が女性活躍の前提にある。

私の学校では、多くの職員が夕方5時までに職場を出る。もうすぐ4歳になる娘と買い物に行き、夕食を作るのが日常。パートナーは帰宅が遅い日もあり、残業はやめてほしいな、と思う。女性も男性も、ともに仕事、家事、育児をしていくためには、男性がその半分を担う必要がある。

仕事志向であった日本の男性の意識は、余暇や両立志向へと変化し、若者の理想も家事や育児、仕事のバランスがよい生活を理想としている。

本人の意思を尊重し、社会や職場、学校や家庭で選択肢を準備していかなければいけない。「ママがいい」は、パパが育児にきちんと向き合えば「パパがいい」になる。

「ままたらぬものに、ともに巻き込まれる関係性をどう作るのか」が大事

育児を経験し、育児とは「ままたらぬもの」に巻き込まれることだと知った。労働はその逆で、自己決定、自己選択。ままたらぬものを押し付けているから労働ができている。ケアが低く見られている社会。大切なのは対話とそれによって築いていく関係性。これが、ジェンダーを超えて、生き方を自分で選ぶときに大切な要素だと思っている。



竹端 寛 さん

トークサロン(交流会)

トークゲストと参加者がテーブルを囲み、3つのグループにわかれて日頃抱えるホンネを出し合う時間となりました。

トークイベント
説明

オトコの本音サロン

『オトコの本音サロン』では、トークゲストの2名も参加し、参加者それぞれの現在を取り巻く状況や働き方について共有・意見交換をしました。

「働き方」については、管理職がチームメンバーのワーク・ライフ・バランスを重視しているが、自分自身のプライベートをおろそかにしがち、などのホンネがでました。



あかし女性応援ねっと
事務局長 柏木 登起

オンナの本音サロン

『オンナの本音サロン』では、ジェンダー平等に向けて、子どもの頃からの教育が大切という意見がでました。

また、女性の相談現場では男性優位の考えから生じる内容も多く、DVや女性に対する暴力につながっている現状について意見交換されました。

みんなで交流サロン

『みんなで交流サロン』では、職場での女性の立場について、「トップが男性で、現場が女性ばかりだと、女性の声が届きにくい」等のホンネがでました。「女性の働き方」については、環境を整えたり会社が何とかしないと、という意見がありました。

トークイベント 締めあいさつ

今日、勉強したことを1つでも持って帰っていただいて、環境や制度の改善につなげることができればと思います。みなさま今後ともよろしくお願いいたします。

あかし女性応援ねっと 運営委員 藤原 りつ子

ブース出展

子育て支援に関する制度紹介や健康相談、ハンドセラピーなど、行政や関係団体、あかし女性応援ねっと会員による9つのブースが出展しました。



ダスキン高丘東



あかし健康ソムリエ会



ハローワーク明石
マザーズコーナー



明石市健康推進課



一般社団法人
日本介護美容セラピスト協会



明石市こども育成室
利用担当



一般社団法人
インターナショナル
フットマイスター協会



ハワイアンサロン
ぶなな



明石市ファミリーサポートセンター

